



絵本の里 けんぶち

議会だより



マツダ耐寒テスト基地開放イベントの様子

第4回臨時会 平成29年度決算を認定・第4回定例会	2
決算審査特別委員長報告・委員会の主な質疑	3～8
一般質問 6名登壇	9～14
総務厚生常任委員会所管事務調査報告書	15
みんなの声がまちづくり	16

No.125

2019年3月発行

発行：剣淵町議会
編集：議会広報特別委員会
〒098-0392 剣淵町仲町37番1号
☎0165-34-2121
<http://www.town.kembuchi.hokkaido.jp>

第4回臨時会

11/6-12

補正予算

● 一般会計に644万円を追加しました。

主な内容は胆振東部地震災害義援金に20万円、防災対策として停電時の電力確保を目的としてインバーター付き小型発電機8台購入119万円、高齢者等の冬の生活支援（剣淵町共通商品券発行）に370万円などです。



インバーター付小型発電機

決算認定

平成29年度各会計決算は特別委員会に付託し慎重に審議しました。主な内容は4く8ページに記載しています。

● 平成29年度の一般会計ほか6特別会計決算を全て認定しました。

賛成討論



高橋 毅議員

平成29年度の主な事業は橋梁長寿命化修繕事業設計業務、農業施設災害復旧事業、町道除排雪業務追加分などがありました。レークサイド多機能型整備事業での客室シングル化は宿泊者のニーズに應えるものと思います。地方創生交付金での絵本の里観光地域づくり

● 簡易水道事業特別会計に65万円を追加しました。

内容は元町の配水管漏水に対し、漏水を止める対応として町道敷地に制水弁を設置する費用です。

12月

第4回定例会

12/20-21

や剣淵農業ブランド化事業に取り組みました。プレミアム付商品券も商工振興につながるとしています。一般会計、6特別会計において黒字決算で歳入歳出差引で1億8千万円余りの剰余を計上し基金と繰越し財源を確保したことは職員の努力の賜物だと思っています。今後、も特色ある町づくりを進め、若者が希望を持って生活でき、お年寄りが安心して暮らせる町になるよう、一層の努力を期待し賛成討論といたします。

補正予算

● 一般会計に2507万円を追加しました。

一般質問には6名が登壇。議案は条例改正が2件、補正予算が6件、計画等の変更が2件あり慎重に審議を行い全て可決しました。他には選挙管理委員と補充員の選挙と報告1件、発議が3件ありました。

条例改正

● 職員の給与に関する条例及び特別職の給与に関する条例の一部改正

内容は人事院勧告に基づき改正給与法の成立に伴い、これに準じて関連する条例を改正するものです。



君の椅子 2017年モデル

選挙

平成31年1月16日の任期満了に伴い次の方々の議長指名に同意しました。

選挙管理委員

山口茂樹氏	屯田町	佐藤宏和氏	東町
小澤 繁氏	仲町	前内千景氏	西町
鈴木真喜子氏	南桜町	佐藤朋則氏	西原町
細田正勝氏	屯田町	鷹合亜希子氏	旭町

選挙管理委員会補充員

要望意見書

● 難病医療費助成制度の改善を求める要望意見書

要請団体：一般社団法人北海道保険医会・一般財団法人北海道難病連

● 日米物品貿易協定交渉に関する要望意見書
要請団体：剣淵農民連盟



29年度 決算審査報告

桜岡宿泊研修施設多機能型整備事業 レークサイド桜岡の客室一部シングル化に1億3,000万円

一般会計

歳入総額
41億0,503万円

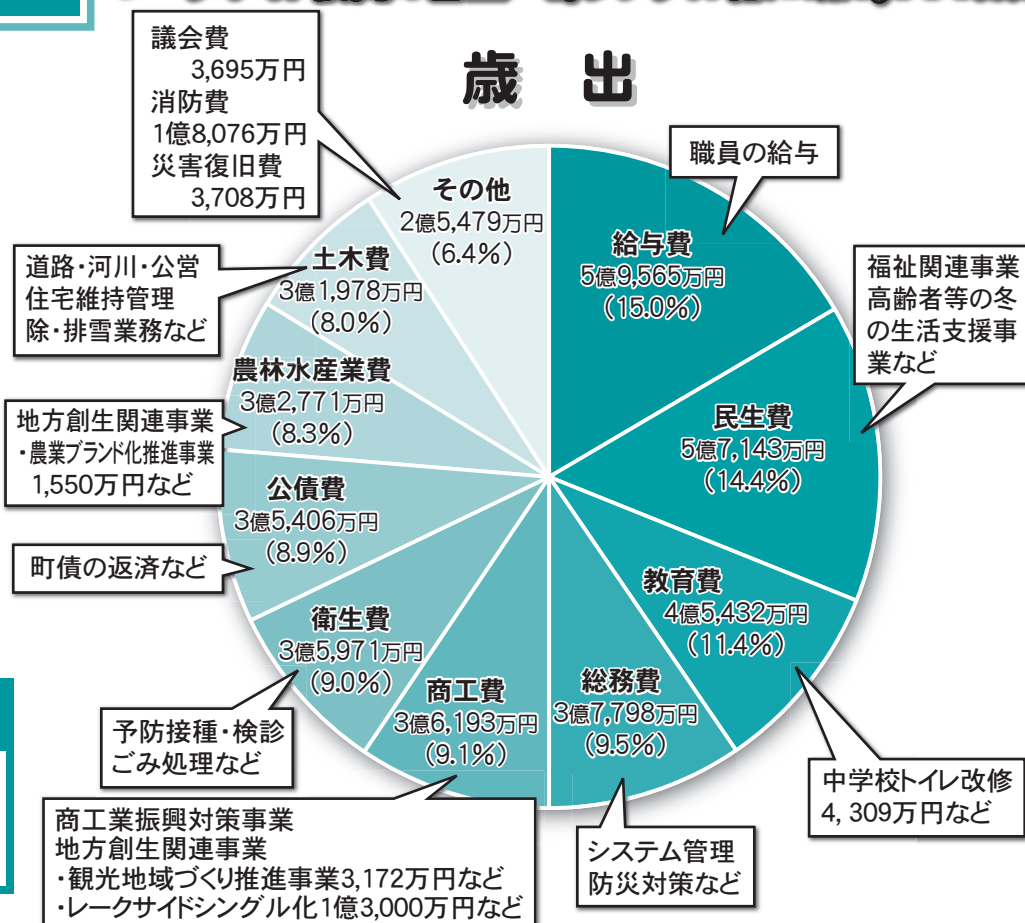
歳出総額
39億7,736万円

歳入歳出差引
1億2,767万円

29年度 ふるさと納税

件数 **382件**
総額 **6,553,000円**

歳出



平成29年度決算審査特別委員会では一般会計並びに6特別会計の歳入歳出決算について慎重に審議した結果、委員全員の賛成をもって認定すべきものと決定しました。

主な事業として剣淵農業ブランド化推進事業1550万円と絵本の里けんぶち観光地域づくり推進事業3172万円は、両事業とも地方創生関連事業であり予算を獲得でき事業を執行できたことは高く評価できるものであります。

一方でインバウンド事業が一部にしか反映されず、効果がまだまだ薄いと思われます。また、事業継続による町財政の負担が増すことも懸念されるところですが、今後も事業評価・精査しながら引き続き取り組んでいただきたいと願うものであります。

購買促進プレミアム商品券を前年度に引き続き発行できたことも商店街の振興はもとより、町民の生活支援にも大きな効果がありました。

しかし、過疎化が進行する中、人口減少対策関連の事業が弱く、移住定住促進、企業誘致等の事業は整備が不十分であり、人口減少



大澤 秀明
委員長

平成29年度 決算審査 特別委員会委員長報告

に対する緊張感が足りないようにも思われます。新たな公営住宅入居希望者への対応も民間と比べて遅く、剣淵町に住みたいという人に対応できていない場合が多く見受けられ、町外に人口流出が相次いでいます。次年度に向けてこれらの課題と真摯に向き合い、事業を組み立てていくことを願います。

第3セクターであるレークサイド桜岡に運営安定化助成金として3100万円の補助金を投入しました。累積赤字が年々増えている現状は、大変厳しいところではあります。社員一丸となり困難を乗り越えていけるよう一層の奮起を期待します。

29年度一般会計決算では余剰金が約1億2700万円あり、うち2分の1を基金に繰り入れてきたことは評価できます。今後も事業精査を繰り返し、前例踏襲の事業で見直しができる事業は抜本的な見直しが必要です。決算審査で出た意見を翌年度の予算編成に十分反映され、町民が安心して暮らせる町づくりができるよう期待をして委員長報告いたします。

平成29年度

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会の中で出された歳入・歳出についての主な質疑の概要を掲載します

岡委員

町民税の滞納者は、本当に困って払えないのか、収入がある程度あるが払ってもらえないのか。萩尾住民課長

給与所得者でも口座振替・特別徴収にも協力してもらえない方や訪問しても対応してもらえない方が増えている。固定資産税については相続された方が町外という事も多く、納税に協力してもらえない方も散見される状況。



町有林伐採後の集積状況

高橋毅委員

町有林の伐採事業で予算よりかなり上回っているが、素材そのものが良かったのか、年数的なものなのか、高額な金額になった要因は。

山下農林課長

昨年度については面積を大きくして主伐を行なったので、材料が多く出た。このため予算も大きく収入が伸びた。

岡委員

ストレスチェック調査とあるが、どういう内容で行っているのか、その結果はどうだったのか。根本総務課係長

ストレスチェックについては、法定で53項目の調査票があり、業者委託で行っている。結果については一部ストレス度の高い職場もあるが、全体的に特段の問題はないという結果をもらっている。

岡委員

防災用備品についてどのような災害を想定した上で、どのくらいの量を備蓄しているのか。

原総務課係長

一番懸念される水害対策として小型ポンプや防災食などの災害物資を備蓄状況を考慮しながら購入している。



防災用品の一部備蓄状況

卯城委員

町づくり懇談会の関係では87名の方が出席、全部で142件の要望、町長と語る女性の懇話会については、6名の出席で170件の要望があったことだが、比較的早い時期に懇談会をやることによって要望が予算に生きていく

仕組みづくりが必要と考えるが。上林総務課長

現在は既に予算編成が終わって議会に提案するだけという状況で開催している。具体的に反映されるとなると、補正予算か、次年度予算となる。以前は10月、11月頃に開催しておりそこで出た要望がすぐ次の年の予算に反映され、目に見えやすい部分があったので検討はしていく。

酒井委員

ふるさと応援寄付金が、残念ながら382件、655万3千円と前年度を下回る結果になったが、周囲の町はかなり伸びている状況下で何がその差を生んでいるのか。渡邊総務課係長

PRの方法として、ふるさと納税のサイトの幅を広げて行ったり、返礼品の数が当町の約10倍程度あると聞いている。当町も今年度10月から農産物お米のセットを新たに追加したところ伸びも良く、昨年の寄付額より伸びることを期待している。

卯城委員

ごみ収集の関係で、ごみ収集車が回らないところがある。予算的なものもあると思うが、回数は少なくともでも対処の方法はないか。

板東住民課主幹

地区別に全路線を回るのは時間的、労力的に難しいと考える。ただ、新しく住まわれた方がいるなど連絡いただければ収集路線を検討させていただく。

岡委員

近隣市町村の学童保育の料金体系は無料が当たり前になってきておりそういう中、剣淵においては登録料2千円と1日当たり200円の使用料となるが、改定を考えているのか。

萩尾住民課長

学童保育所の登録料と利用料については新年度予算編成の際に検討した。無料の施設ではおやつなどを保護者が自分たちで購入している例もあるが、今年は現状のまま進めている。

畠山真紀子委員

人工透析の方はかなりいると思うが、週に3回程度通院している方の通院費はどうなっているのか。精進健康福祉課長

土別市立病院とびっくクリニックに通院されている方が多い。多くはびっくクリニックに通院し、送迎をしてもらっているが、旭川や名寄にも通院している方もいるので内部で検討をしたい。

高橋毅委員

高齢者等冬の生活支援事業費について昨年の大雪の中、生活支援の申し出への要望と答えるべき労務体制も含め課題は無かったのか。精進健康福祉課長

高齢者事業団に依頼しているが、降雪が続いても、担い手の数が殆んど変わらない状況下で対応しなければならぬ。体力的なこともあり、農村部に出かけるケースも少しみられる。従来のサービス内容では農村部の対応ができないことや、人材と財源の確保に課題がある。

生出委員

高齢者が剣淵に住んでいたくても住めなくなり転出することが起きている。住み続けてもらうためにはどうすれば良いと考えているのか。

精進健康福祉課長

特別養護老人ホームひらなみ荘や^{しやう}菜に入所されている方もいるが、近親者の近くの施設への入所を望む状況が顕著に表れてきている。どのような形で住みよい町を作っていくべきか、模索中でもあるので検討していきたい。

佐藤委員

肺炎球菌について接種後の事故はなかったのか。

松村健康福祉課主幹

肺炎球菌に関しての当町での事故例はない。期間も5年以上空けてということなので2回接種する場合には指導している。

生出委員

小地域ネットワーク事業というのは始めてからかなりの年数が経っている。この事業は地域でのお

年寄りの見守りということで始めたことだが、この事業の会議ではどのようなことが話合われ、今後どの様にすべきと捉えているか。

尾門健康福祉課長補佐

小地域ネットワークについては、社会福祉協議会が主管している事業。会議には11自治会の福祉委員と社会福祉協議会からは自治会役員とが集まり福祉委員を中心に地域の協力を得ながら全地域で基本活動である見守り声かけ援助活動等の推進を提案してもらい、具体的な協力をいただくこととなっている。最近は福祉委員の方々には各地域においてのサロン活動に協力をいただいている。

生出委員

各地域で広がっているサロンがその役割を果たしていると思う。あまり効果の発揮していないものは止めて、サロンのほうに組み込んでしまえば、もっと効果が上がると思うが。

精進健康福祉課長

小地域ネットワークについては年1回の会議ということで話合い

はしているが、動いていないというのが現状。ささえ愛けんぶちということで協議体でも同じようなことがあるので、今後整理してやるものはやめるという風に判断してきたい。



西町ふれあいサロン”なごみ”の様子

卯城委員

理学療法士の指導によって例えば介護4が介護3になる、介護3が介護2になるといったことがあることから、不自由さをもたれても早いうちに対応するほうが機能回復に効果があると思う。早期の適時適切な指導をしてもらいたいが。

精進健康福祉課長

元氣アップ教室については介護予防ということで実施している。介助が必要な方については専門的な分野となることから、機能回復を含めて医療機関と相談しながら進めていきたい。



元氣アップ教室の様子

酒井委員

デイサービスりんどうが始まり、当初利用者を集めるのに奮闘されたと思うが現在の利用者の状況はどれぐらいなのか。また、増えてきていると思われるが、運営状況等を教えてもらいたい。尾門健康福祉課長補佐 通所型介護事業デイサービス

んどうについては社会福祉協議会が平成29年4月より旧診療所の入院病棟の場所を利用して実施している。昨年の稼働日数としては231日、利用者は延べ2112名で平均して38名の利用となっている。現在の利用は1週間通しては実人数39名で1日の利用者数が8名前後となっている。

高橋毅委員

診療所の所長は非常に接客も良く、あまり休みを取らず、患者に対して採血等で、例えば健康診断や人間ドックの検査結果の数値を参考にするなどして前任医師とはかなり違った診療となっていると思うが、収支や医師の評価・評判を診療所としてどう考えてるか。

精進診療所事務長

平成28年の4月から稲田医師が着任されて前任者とは診療方針がかなり変わったと思う。特に患者目線での診療というところ。不要な検査をしないことで、その分逆に言えば診療報酬は入らないが、1日平均の患者総数についてはここ数年ほとんど変わらない状況。

ただ、収入については全般的に減っているのも事実。

生出委員

レークサイド桜岡の物流の確立について、レークサイドの桜岡の支配人というのは宿泊施設のほうの支配人であって、物流のほうまでも担当するということがなければ、本当に責任負えるのかなと思う。もう一つは物流の確立の点で具体的な成果があったのかを伺いたい。長谷川農林課係長

物流の方まではまだ全ては出ていない。地域商社の足がかりとなるインターネットショップ等を確立させてから次の段階にステップアップしていきたい。

中村副町長

包括的には支配人が進めているが、支配人も全般的な経営を見ないとならないことから、パート職員1名をつけ、その職員に事務部分を担当させている。インターネット等で販売を確立させた上で物流販売をする職員を探し、担当させるべく進めている。



ロシアとの交流

岡委員

人材育成研修派遣事業について、第3セクターの再建事例とインターネット流通等の研修ということだが、内容を伺いたい。

穴戸町づくり観光課長

町民4名、随行者1名を派遣し、研修先は山形県川西町の「浴浴センターまどか」。ここは、2008年度に累積赤字3500万円あったが、指定管理者の社長に地元企業経営者が起用され、色々なアイデアで業績回復を果たした施設であり、レークサイド桜岡の職員にも大変勉強になったと聞いている。

また、農産物のインターネット販売を先駆けて取組んだ次世代農園ACEでの取り組みを勉強させてもらった。

卯城委員

北海道・ロシア極東交流事業についてはサハリン州との姉妹都市交流をということでスタートしたと考えていて、昨年は生徒2名が派遣されたとのことだが、行政報告書では姉妹都市交流のあり方を研究すると書いてある。姉妹都市についてはペルー共和国二箇所ということで交流事業を進めており、更にロシアとの交流を、というのは難しいと思う。当町との交流が可能なのかも含めて検討すべきではないかと思うが。

穴戸町づくり観光課長

国際交流におけるロシア連邦サハリン州との交流については、昨年度中高生2名を派遣し、職員が1名随行している。ロシアとの国際交流は現段階では難しいとの感触は正直持っている。ただ、全くやらないということではなく今後に向けてどうしていくかといった判断を迫られると考えている。

酒井委員

道の駅について、たくさんの方々がいるがその方々は剣淵町の

お土産を買って帰りたいと思われると思う。観光協会の方でも

っともってグッズ、お菓子、Tシャツでもいい、色々な剣淵のお土産を作るように考えていただきたいが。

西岡町づくり観光課主幹

各種フェアや商談会等において町のキャラクター等使った物を販売して独自の財源を作っていくという意味では今後もこの流れを強めていきたいと考えている。

高橋毅委員

レークサイド桜岡の宿泊研修維持管理費の中の負担金・補助金及び交付金の3100万円について、支配人はじめスタッフの人達に、この負担金を入れることについてどのように社員の人達に伝わっているのか教えてほしい。

穴戸町づくり観光課長

桜岡温泉保養施設の負担金としての3100万円だが、予算計上に至った経緯、議会での意見や指摘内容、協議があったというようなこと等を踏まえて従業員に対して施設経営の立て直しにまい進して

欲しいと伝えている。

高橋毅委員

高台PG場の利用者数が年々落ちていく。当初は非常に広がっていたコースということで増えていたが、高齢化によりアップダウンが辛くなり利用者が減っていると思う。対策をどう考えているか。

穴戸町づくり観光課長

高台のPG場については、年齢層が上がってアップダウンがきついという声も聞こえる。しかし、面白いというお客様の声もあり、予算段階では協議されていないが、観光的な意味合いや集客的な意味もあるので、できるだけお金をかけないような経済的な管理を行なっていくと考えている。

岡委員

イジメや友人に関すること、また家庭環境に関するなどとスクールカウンセラーに関わる相談状況についてどういう状況になっているのか伺いたい。

金村教育課長

スクールカウンセラーについて

の相談内容は、友人関係、心配事、保護者の相談等で内容の詳細については把握していない。

昨年のイジメの状況としては、小学校で18件、中学校で1件、高校で1件認知している。イジメがあったと答えた児童生徒に全て聞き取り調査を実施をしている。

佐藤委員

行政報告書に卒業生進路状況が記載されていて国家資格となる介護福祉士、今回9名中8名が合格とのことだが就職のところでは公務員3名、民間企業11名となっている。これらの生徒について地元での就職となっているのか伺いたい。

中上高校事務長

卒業生の進路については2年次と3年次、福祉系列については各々地元に近い施設や、受け入れ可能施設に通って長期の実習を行う形になっている。実際の就労となるとやはり実家の近くとなっているというのが現状にある。

生出委員

りんどう交流館については、当初、移住体験のための宿泊施設として整備している。現在、宿泊できないとなれば移住体験もできなくなる。施設を開設したときの主旨が全く変わってくることになるが今後どうなるのか。

半田教育長

りんどう交流館については旅館業法に照らすと、その基準で認可を取る必要がある。そうではなく、団体が利用して簡易的に合宿等で宿泊が出来れば良いと思うが、寝泊りするとすると町内の団体だと自己管理ということで対応できるものと思うが、それ以外の団体となると金銭の收受となり管理責任が発生することとなる。そういう需要があるかも含めて、一度検討してみたい。

生出委員

西原団地の公営住宅については、西原団地10戸と北団地2戸と2か所ある。西原団地は昨年から空きがあり、現在も埋まっていない。この団地については33年から38年

経過した住宅であり、このうち2戸は外断熱で改良している。2戸について維持すると思うが、長寿命化計画では他は用途廃止となっている。計画通り進めようとしているのか、それともしばりのない住宅として学園関係者が自由に入居できるような形に変えていこうと考えているのか伺いたい。

館野建設課長

空き家は今現在で4戸。改修したのは2戸だが、この2戸については入居者がいる。この住宅は改修したので、将来に向けて維持管理は進めていくことになる。その他については空き家が多い状況もあり、維持管理していくことは難しい状況と思っている。今後北斗会で入居の希望があれば、北斗会とも相談して関係者の方の利用方法があれば考えていきたい。

酒井委員

「結婚するんですけど、住むところがないんです」という話をよく聞かされる。公営住宅等にも入れない、そのような中では士別に住むという状況が非常に増えてき

ていると思う。隣町ではマンションが国道沿いに建ち、士別でもたくさんマンションが建っている。若い世帯を町外に出さないためにも、過去に民間賃貸住宅建設事業助成金、これを時限立法でやって1棟のマンションを建築した実績がある。是非これを復活させて町で出来ないなら民間の力を借りてマンションを作ることを考えてはどうか。

中村副町長

剣淵に住宅がなくて士別にという方もいることは聞いている。その事業については助成している。今、町内の住宅事情も大変厳しい現状にあることから内部で研究してみたい。



民間の賃貸住宅

問 減収農家への緊急支援資金 無利子化を



高橋 毅 議員

答 営農継続と生産意欲を高め経営の安定 を図れるよう対応する

高橋 毅 議員

今年は異常気象で作物全般にわたり不作となった。暑い年は稲作が良く、寒い年は芋・ビートが良いのが普通で、全作物が不作というのは滅多にない。共済金支払いも十分ではなく、来年の営農資金も心配である。そこでJA剣淵基幹支所と協力し合い緊急支援資金の無利子化に取り組む必要がある。また今年は農地の排水の善し悪しが収量の差にもつながった。町もパワーアップ事業と町独自の排水対策事業を展開しているが、道営事業の早期完了と新地区の事業採択の見通しは。

一方それまでのつなぎで町の排水事業拡大の必要があると思うが町長の考えは。

早坂 町長

今年の農作物は春からの低温、日照不足、長雨、干ばつなどの影響で品質・収量で大きく減収になった。11月27日JA北びびき組合長・常勤役員から、次年度緊急融資する農業経営緊急資金の利子補給無利子化要請を受けたので、町としても営農継続と生産意欲を高め経営の安定を図れるよう対応す

る。

パワーアップ事業は東地区は今年度完了。中央・西地区は来年度完了の予定である。新地区の事業採択は藤本・西原地区で暗きょ区画整理、客土のほかにも土地改良区の老朽化対策も含め、再来年度からの調査実施に向け強く要望している。

町独自の排水対策事業は平成24年より実施しており、29年より排水補助単価を1メートル当たり75円から150円に増額したので農家に周知をしていく。

ごみ収集所にごみ箱整備を

高橋 議員

町は町民の利便性を図るためごみ収集所を町内各所に設置している。しかし降雪時などは雪に隠れたり、カラス・キツネ・アライグマなどによるごみの拡散、生ごみなどの被害もある。それを防止するのにごみ箱が必要である。町外より移住した方で町のごみ収集所に驚かれた人もいる。

町民が安心してごみを出すためにも町内会とも協議しごみ箱の整備を進めるべきと思うが町長の考

えは。

早坂 町長

ごみ収集は夏冬それぞれ路線ルートを変更し収集している。町民の協力により個別収集と一部地域ではステーション方式で回っている。ごみ箱の設置は町内会や地域の協力が不可欠で、農家で使っている鉄製コンテナが丁度いい大きさかと思っている。皆さんの知恵を借りながら、ごみの無いきれいな町にしていこうと思っている。



ごみ収集所



卯城規伊 議員

問

ふるさと納税について返礼品の見直しが必要になるのではないか

答

調達額はいずれも3割以下であり影響はないものと考えている

卯城規伊 議員

ふるさと納税について「調達額が寄付額の3割以下の地場産品」という基準を守らない自治体については税の優遇が受けられなくなる。そこで懸念されるのが地場産品の「解釈」になると思われる。国の見解では町内の小売業者が町外から仕入れて販売している商品生産・加工・販売を一貫して行っていない商品、市外から仕入れた肉をカットしてパック詰めする加工工場の商品などが返礼品として認められない事例が他市町村にあることから今後に向け、再検討する必要があるのではないか。町長の見解は。

早坂 町長

ふるさと納税を巡っては一部の自治体が高額な品物や地場産品以外の物を返礼品とすることで多額の寄付金を集めていることに批判が出ています。剣淵町では期間限定品も含めて寄付額1万円以上2万円未満ではAコース14種、2万円以上3万円未満ではBコース3種、3万円以上はCコース2種を用意している。いずれも調達額は3割

卯城 議員

以下で今回の制度改正の影響はないものと捉えている。ちなみに12月19日現在、寄付額は752万円となっている。高額の方もこの中の返礼となっており、私からお礼の電話を入れることなどでご理解をいただいている。ジンギスカンについてはオーストラリア産の肉ではあるが北海道産の食文化と捉えており、国からの指摘もないことから問題ないと考えている。

返礼品の種類を見ると「絵本のセット」があり、仕入れることから地場産品とは言えない。このことについてはどう考えているのか。

早坂 町長

絵本の里づくりについては30年が経ち、絵本はまちづくりの根幹となることや1冊1500円から2000円ほどの金額であることなどから総務省からの指摘はないものと考えている。

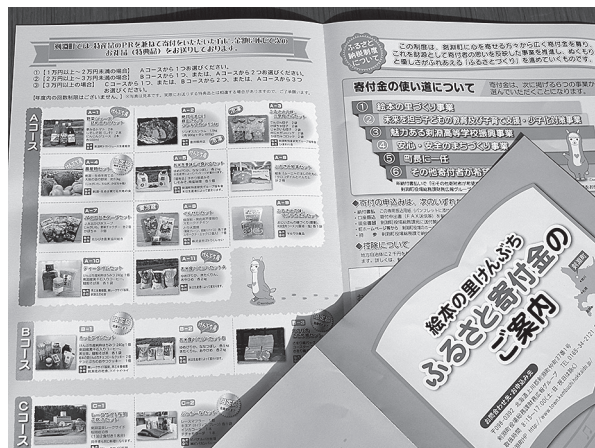
卯城 議員

今後に向けては絵本の活用を薦めて、例えば地場農産物と絵本の

大賞作品を贈るなど、剣淵からの返礼品には絵本が入るよう統一しての特色づくりを進めるべきと思うが。

早坂 町長

剣淵の手塩にかけた農産物と絵本が一緒に届くことで町のイメージアップにもつながるものと思われるので進めていきたい。



ふるさと寄付金のパンフレット

※卯城議員はこの他、4月から導入の妊婦加算制度の凍結を求めて一般質問を予定していましたが12月14日、本会議直前制度の凍結・見直しを国が発表したことから議場において質問を取り下げました。

問 剣淵川河川敷内の雑木伐採処理を強く要望すべきではないか



生出孝男 議員

答 雑木処理が十分行われていないので様々な機会を通して強く要望していきたい

生出孝男 議員

剣淵川河川敷内の雑木処理が3年前から進んでいない。大雨で増水した際には流れが妨げられ剣淵川につながる各河川にも影響があるので伐採を進めるように旭川建設管理部土別出張所に対して強く要望すべきではないか。

早坂 町長

平成26年から3区域に分け、毎年優先度の高い区域から計画的に伐採を実施している。30年度は弥栄川合流点から剣静橋手前までの伐採が既に発注済みで冬工事で行われる予定。ただ、剣淵川の東側のみの区間内で一部残される所もあり、全ての雑木が処理されるわけではない。伐採が行われない西側も今後計画的に行う予定としているが、十分に行われるとは考えられないのでそれを早めて範囲を広げることを様々な機会を通して強く要望したい。

生出 議員

河川敷の中の木は橋の高さよりも生育している。そのような状態で大雨が来たときには水の流れが妨げられるのは間違いない。パン

ケベオツペ川、音無川、犬牛別川が合流して流れるので、その流れが妨げられ剣淵地域で水害が起こることは明らかだ。自然の保護というよりも、むしろ災害をなくすために伐採を進めるよう強く要望すべきではないか。

早坂 町長

環境に配慮した形とはいえ、永久橋を超える生育は尋常じゃないと私も思う。道全体の予算も付きづらいと思うが引き続き要望していきたい。

生出 議員

築後20年経過して、当時から見ると入居者も様変わり、現在では居室の間取りが悪く、使い勝手良く改善する必要がある。特に浴室は大浴場で不経済であると同時に入居者から使いづらいとのことから数年前に間に合わせ的に浴槽が置かれたが、冬場は寒くヒートショックの危険も感じられる。ここだけでも早くユニットバス等に置き換えて設置すべきではないか。

早坂 町長

居室にベットの配置すると押し入れの扉の開閉ができないので扉

を外し対応。空き部屋も引き戸に改修をしている。浴槽は平成28年に洗い場から直接入浴できるように改善をした。建物は経年により改修が必要な現状にある。また高齢の入居者が増え、支援を必要とする方も増えて当初の入居基準にそぐわない状況になりつつあるが、様々な課題を整理し、また町財政に鑑み総合的に検討しているところ。今はできるところから改修改善は進めていきたい。ヒートショックは懸念されることであり、現在は浴室用の暖房器があるので早急に改善していきたい。



福寿寮の浴室

問

地域課題解決に向け、民間の手法・知恵・ノウハウを積極的に取り入れていくべきではないか

答

受け入れる事業所においてもできる範ちゅうがあるので今後協議していく



岡 康照 議員

岡 康照 議員

近年、民間の力を活用し、互いに利用し合うことで助け合い、地域課題解決に結びつけている自治体が増えてきており、本町においても多くの民間の力を最大限活用することにより地域課題の解決に近づくとと思うかどうか。



剣淵地域見守り活動に関する協定書
平成29年4月1日 道新剣淵販売所

早坂 町長

本町としても民間との協力関係は地域課題解決の大きな手助けとなるものと考えており、郵便局とは高齢者等の見守りや道路損傷の情報提供、廃棄物の不法投棄などの情報提供など幅広い分野での包括連携に関する協定、コープさつ

岡 議員

ほろ、北星信用金庫、北海道新聞販売所などとは地域見守り活動に関する協定を締結している。またいつまでも住み続けられる町づくりを目指してボランティアの育成や地域の支え合いの仕組み作りなどを検討している。

協定を結んでいる事業所においては業務範囲内でなんらかの異変に気付いた場合の見守りとのことだが、行政としてはそれほど大胆に民間に任せきれていないのではないか。買い物支援や移動支援など町民のニーズに合わせて実験的に試みるなど一歩進んだ形で民間の手法・知恵・ノウハウを取り入れていくべきではないか。

早坂 町長

これからもっと民間に任せることは必要になってくると思うが、受け入れる事業所においてもできる範ちゅうがあるので今後協議していきたい。

買い物支援、移動支援については疑問を感じているところでもあり、今年1年かけてじっくり考えていきたい。

岡 議員

交流が減っている今、日常生活

で出会えない部分を情報機器であるスマートフォンなどを活用することにより出会い、つながり続けることが可能になるのではないかと道内でも、情報機器を活用し自分が所有している車に地域の人を乗せて目的地まで運ぶライドシェアという取り組みもみられる。

今後の地域課題解決のツールとしてICTがいかに活用できるか今から調査研究をする必要があると考えるかどうか。

早坂 町長

情報機器であるスマートフォンなどの活用については必要なツールの一つであると考えが利用できる人、できない人がいるのでどのような形や方法が良いのか検討していきたい。

※ICTについては苦手というのが否めない状況であるが、近隣自治体が導入するなどすぐそこまできているので、一遍にはできなくてもどこから手をつけれるかを考えていきたい。

※ICTとはスマートフォン等のコンピュータを活用し、人と人、人とモノの間で情報や知識を共有する技術

※岡議員は他にも市街地の土地の活用について質問しました

問 総合計画の中に絵本の里のグランドデザインを描いていくべき



大澤秀明 議員

答 可能な限りの部分で表現していく

大澤秀明 議員

絵本の里づくりが始まって30年が経過した今も、町の中に絵本の里らしさは感じられない。町全体の絵本の里の世界観が感じられるグランドデザインを描いていくべきで今後計画していく総合計画の中に盛り込んでいくべきでは。

早坂 町長

町並み景観については平成9年町並み整備計画策定委員会を設置し、大通りの車道歩道改修、街路灯の整備、案内サインの設置、商業店舗近代化事業実施、イベント広場やまちの駅の設定などを行ってきたおり高い評価を得ている。それらのことから絵本の里としての街並み整備は十分に成果が現れていると考える。

大澤 議員

街並み整備計画で一通りの近代化は進んだが誰もがわかる絵本の里というものではない。現代の総合計画の公共施設整備や街並み整備の計画には絵本の里らしさという文言は載っておらずその時々予算の都合などで計画が決まっている。

市街地に人の流れをつくるためにも街灯や道路に一工夫を凝らしたり、景観の細部にアイデアを盛り込みお金をかけない方法で仕掛けを作っていくことは可能である

と思う。公共施設の今後の補修改修計画を考えていく上でも、総合計画の中に絵本の里という言葉で盛り込み統一された認識のなかで街並みを整備していくべきと考えるが。

早坂 町長

具体例を挙げて記載することはできないかもしれないが、可能な限りの部分で総合計画の中に表現していきたい。

大澤 議員

現在の総合計画の中では住宅・宅地の部分でU・J・ターンなどにより住宅ニーズが高まる一方、紹介できる住宅が少なく、空き家住宅の活用、仕組みづくりが必要とあり、また定住支援につながる取り組みを様々な視点から検討することが必要とある。

議会でも以前から再三移住・定住に関する質問が出ているが、まだまだ充実したものになっているとは言えない。町で取り組んでいる空き家バンクも効果が今ひとつである。

清里町では観光協会が移住・定住対策を担い成果を出している。以前から質問しているが観光協会体制の強化を行い、移住・定住対策さらには、ふるさと納税の取り組み、観光政策などは任せられるところは民間に任せ積極的に取り組んでいくべきと思うが。

早坂 町長

外部の人を登用することも含めて観光協会の発展が望める体制づくりを期待する。

しかし、いずれにしてもいきなり行政の肩代わりを任せることは難しいと思うので観光協会の推移を見ながら時期を見定めて議論を進めていかなければならない。

大澤 議員

特に過疎問題や町の財源の問題は待ったなしで厳しくなってきたこと、机上でこれは無理だと判断して歩いて歩みを止めていてはどんどん乗り遅れることから、様々な可能性を議論し、少しずつでも取り入れていけるものは取り入れていくべきと思うが。

早坂 町長

現在他市町村では観光協会のあり方も町の付随団体から発展的なものに変わってきている所も出てきているので、議論を深め剣淵らしい観光協会のあり方を探り続けていきたい。



まちの駅・観光交流センター

問

今年の農作物不良に伴う低所得者層への助成、補助などのあり方について



畠山真紀子 議員

答

物の支給による一般的支援は現代ではなじまない

畠山真紀子 議員

今年は、農作物収量が平年の半分ほどというくらい不作の年であった。農家に対しては、営農緊急支援資金のようなものが充実してくる。しかし、農業者以外の農業に連なる仕事の人たちの低所得者層の方々も所得減になることが予想される。この方々にも金銭以外の支援、例えば米のような食料を助成してはいかがか伺う。

早坂 町長

一般低所得者層に及ぶ農作物収量減の影響を把握するのは難しいと判断する。物の支給による一般的支援については、現代ではなじまないと考える。

物による支援という部分については、実際には災害的要素、地震のようなもの、避難生活が長いなどが考えられる。農作物の不作についてはそこまでの支援は無理と判断している。

畠山 議員

今回食べ物と書いたが、レークサイド入浴券などではどうか。

早坂 町長

生活の困窮という部分に関して制度的なものに基づいて支援するのが行政の観点であり、所得に依りての配布は考えていない。

冬期間ブラックアウトに対する酪農家の発電機の取得対策について

畠山 議員

9月6日の震災時において発電機は必須のものであった。一部の酪農家においては、今後の備えとして発電機の購入も必要になる。夏季は今回同様の対応ということもあると思うが、冬期間、長期化という場合などにはより万全な対策を練っておく必要があると思うがどうか。

早坂 町長

今回のブラックアウトについてはJA北びびきの早い対応により、町内酪農家へ発電機の手配をしていただいた。乳業工場の受け入れ停止による搾乳停止、乳牛への被害など非常用電源を備えることが重要になることは認識している。

国の補助事業が創設されたので町内酪農家と相談して検討していきたい。

畠山 議員

大きな発電機購入に関わる、保安協会の有資格者が近隣市町村にはいないのではないかと思われることについてどう対応するのか。

早坂 町長

保安協会の資格者の配置などは調べてみないとわからないが、これは行政の制度ではない。国と保安協会の問題であると思われる。



発電機 定格出力40～60KVA

総務厚生常任委員会所管事務調査報告書

●福寿寮の現状と課題及び高齢者福祉住宅について

▼調査日

平成30年6月14日
平成30年10月25～26日

▼調査の目的

介護保険制度の改正により、要介護3未満の方の施設入所は原則難しくなり、高齢化率が上がる中、近年開設されているサービス付き高齢者住宅の現状と課題を調査し、さらには建築後20年経過している福寿寮の今後の利用方法について、参考となる部分を調査する。

▼調査の概要

※福寿寮(6月14日聞き取り)

福寿寮は平成9年建設、10名定員(現在8名入居)居室は29・16㎡、常駐の職員はいなく生活支援員が午前中に掃除、見守りをしている。

使い勝手が悪い部分が若干あり、浴室は広すぎて段差がある。

入居料5千円

介護付き高齢者住宅

①砂川市 じけい

砂川慈恵会病院の系列のため病院との連携により、急病に対する柔軟な対応ができ、看護師が常駐

して3人で交代し、夜間等のケアも十分であり、生活習慣病や慢性慢性疾患の在宅管理も可能である。認知症、障がい者の方も入居しており、終の棲家ともなっている。
入居料 13万円～18万円 建築費 4億円



部屋内部の様子

②江別市 ほのぼのさくら野幌

築35年の社員寮を改修した施設であり、施設はかなり古い。入居料8万4千円

③江別市 夢ふうせん みどり

平成25年5月開設、おおむね60歳以上の単身者のみが入居し、職員が24時間常駐している。要介護者のためにホームヘルプサービスと認知症デイサービスの施設も併設されている。

入居料 14万2千円 建築費 1億4千万円



食堂の様子



談話室の様子

④鷹栖町 んくもりの家 たかは

平成29年4月、高齢者の町外への流出を防ぐため軽度者向けの拠点を社会福祉法人さつき会が国、町の補助を受け開設した。鷹栖町の関係者で60歳以上のおおむね自

立している方を対象としている。行政からの入居費補助はあるが入居料 11万6千円 建築費3億5千万円

調査の所見

生活保護者の入居者はいたが、剣淵町の高齢者が多く加入する国民年金受給者の入所者はいなかった。

部屋の広さは18㎡強の施設が多かったが、共有スペースはゆとりがあった。

もしサ高住を剣淵町で建設した場合どれくらいの入居希望者がいるか不安である。国民年金受給者が入れる施設でないと難しいと考え、サ高住に入りたい人の調査が必要と考える。

福寿寮について

福寿寮の居室はほかの施設と比較するとかなり広いと感じる。

今回視察したほとんどの施設がベッド利用で、ワンルームとなっており、入居者の希望によつては、改修を進めるべきと考える。

浴室についても、段差があり、空間が広すぎて体が冷えるためユニットバス2室の設置をすべきと思われる。

現在生活支援員が午前中勤務しているが、業務・勤務時間等を再検討すべきと考える。

みんなの声がまちづくり

①剣淵町をどう思いますか？

明るく礼儀正しい町です。

朝、通学する小中学生からおはようございますと声をかけられるのはとても気持ちが良いです。ただその人数が少なくなっているのが寂しいですね。

絵本の館、レークサイド桜岡、道の駅などの施設があり暮らしやすい町だと思います。

元町
徳 井 宏 さん



②もし町長になったら何をしたいですか？

自然災害が少ない町ですが停電に対する対策を充実させたいと思います。

スキー場、スケート場を整備したいです。子どもたちは冬に外で遊ぶ事が少なくなりました。北国で育っているのだからスキー、スケートは体験させてあげたいです。

商店街を活性化させたいです。売り手も買い手も地元を意識することが大切だと思います。

雇用の促進と特産品の強化として、旧西部牧場を利用し眺望の丘、パッチワークの丘と連携して、観光客の誘致を図りたいです。

剣淵小学校 児童会長
もり たけ こたろう
森 武 琥太郎 さん



①剣淵町をどう思いますか？

僕たちがあいさつをすると町の人も笑顔であいさつをしてくれる安心できる町です。児童会長としてもっとあいさつの輪を広げたいと思っています。働く場所が少なく若い人が町外に出て行くことや大きな病院がないことが不安です。

②もし町長になったら何をしたいですか？

道の駅の近くにベジスイーツパークを作り、剣淵産の野菜を使ってお菓子や料理作り体験を町の人と観光客で一緒にしたり、幼い子が遊べるような公園を作り、お客さんに楽しんでもらいたい。

表彰



町議会議長を3期12年務められた大河邦晃氏が総務大臣表彰を受賞しました。42歳で初当選して以来、8期32年にわたり議員活動、議会運営に尽力し、地方自治の発展向上に大きく貢献したことが評価されました。

この表彰は市町村議会議長に10年以上在職し、地方自治の発展に貢献した方を対象に行われるもので、今年度は全国で3人に贈られました。

選任

選挙管理委員会が1月22日に開催され、次の方が選任されました。

委員長

山口茂樹氏（屯田町）

職務代理

小澤 繁氏（仲町）